

## 「研究大学強化促進事業」中間評価 進捗状況報告書(様式2)(案)

機関名				
統括責任者	役職	実施責任者	部署名・役職	
	氏名		氏名	

## 1. 「実現構想の推進体制」の進捗状況について

【応募時】	【平成28年度までの実績／進捗状況／変更点等】
※実現構想「3. 実現構想の推進体制」の内容を転記	・事業を実施する上で、総括責任者(機関の長)又は実施責任者(担当理事等)が、本事業全体の状況をどのように把握し、マネジメントにおいてリーダーシップを発揮しているのかについて記載してください。

2. 「研究力強化の方針」の進捗状況について

【応募時】 ※実現構想「4. これまでの取組状況と、研究活動の状況分析を踏まえた研究力強化の方針」の内容を転記

【平成 28 年度までの実績／進捗状況／変更点等】

【審査の観点】

- ・ これまでに、研究力向上に資する大学院改革に関する取組や、人材登用、国際化、研究推進体制の改革に関する取組を積極的に行ってきたか。
- ・ 機関が自ら行う研究活動の強み・弱みや課題等の状況分析（人材登用、国際化、研究分野、研究推進体制等の分析）の結果を踏まえた方針となっているか。
- ・ 5 年度目、10 年度目の目標も含んだ機関全体の研究力強化の方針となっているか。
- ・ 研究活動の状況分析、本補助事業を含む研究力強化の取組の進捗状況や成果等について、積極的な情報発信を行う内容となっているか。

※基本情報（教員数・学生数）については、別紙へ記入してください。

3. 「研究力強化の方針に基づき取り組む制度改革等」の進捗状況について

【応募時】 ※実現構想「5. 研究力強化の方針に基づき取り組む制度改革等」の内容を転記

【平成 28 年度までの実績／進捗状況／変更点等】

【審査の観点】

- ・「4. これまでの取組状況と、研究活動の状況分析を踏まえた研究力強化の方針」に記載した研究活動の強み・弱みや課題等の状況分析の結果を踏まえた研究力強化の方針に即した内容となっているか。
- ・人事規則等の関係規程の見直し、能力等に応じた処遇、年俸制の導入など、研究力強化に資する人事労務制度の改革に向けた取組内容となっているか。
- ・大学院教育の改革、若手・女性研究者の確保、国際公募の導入・拡大、産業界との連携など、研究力強化に資する人材確保に向けた取組内容となっているか。

4. 「研究力強化の方針に基づき取り組む事業《Aメニュー》」の進捗状況について  
(研究戦略や知財管理等を担う研究マネジメント人材群の確保・活用に関する取組)

【応募時】※実現構想「6. 研究力強化の方針に基づき取り組む事業《Aメニュー》」の内容を転記

【平成28年度までの実績／進捗状況／変更点等】

【審査の観点】

①研究力強化の方針との関係

・「4. これまでの取組状況と、研究活動の状況分析を踏まえた研究力強化の方針」に記載した研究活動の強み・弱みや課題等の状況分析の結果を踏まえた研究力強化の方針に即した内容となっているか。

②URAの雇用計画とその活動

・URAの雇用計画（雇用・配置する人数や部署など）、整備する組織とその構成は、実現性が高く、機関における研究環境の改革が期待できる内容となっているか。

・URAが従事する職務内容と活動内容（特にURA組織のチームとしての活動）は、実現性が高く、機関における研究環境の改革が期待できる内容となっているか。

・URA事業を実施している機関においては、URA事業による取組と相互連携し、当該取組の成果を効果的に活用する内容となっているか。

③URAの職務環境等の整備

・URAの業務に必要な環境整備（キャリアパス、「URA」職種の整備、雇用・選考等人事労務関係条件の整備、URAのスキル向上のための取組等）の内容は、実現性が高く、URA組織の体制整備に資する内容となっているか。

※URA配置計画人数・実績については、別紙に記入してください。

■URAの人事労務関係について該当箇所に○をつけてください。

・人事規則の整備            有 ( )            無 ( )            検討中 ( )            (実施予定時期： )

・雇用職種                    教員職 ( )            事務職 ( )            その他 ( )            (具体的職種名： )

・実際の採用状況を踏まえ、内部登用の考え方、URAの具体的な業務、採用者のバックグラウンドなどを含め、進捗状況を記載してください。

5. 「研究力強化の方針に基づき取り組む事業《Bメニュー》」の進捗状況について  
(Aメニューと効果的に組み合わせて実施する、その他の研究環境改革の取組)

【応募時】※実現構想「7. 研究力強化の方針に基づき取り組む事業《Bメニュー》」の内容を転記

【平成 28 年度までの実績／進捗状況／変更点等】

【審査の観点】  
①研究力強化の方針との関係  
・「4. これまでの取組状況と、研究活動の状況分析を踏まえた研究力強化の方針」に記載した研究活動の強み・弱みや課題等の状況分析の結果を踏まえた研究力強化の方針に即した内容となっているか。  
②研究環境改革の取組内容  
・機関としての取組実績を踏まえた、研究環境改革に向けた意欲的な内容となっているか。(機関内で既に実施しているシステム改革事業における評価や進捗状況を踏まえた改善状況も勘案する。)  
・《Aメニュー》の取組を効果的に活用する内容となっているか。

※科学技術システム改革関連事業との関係については、別紙に記入してください。

--	--

6. 補助事業終了後の継続を見据えた独自の取組・方策に関する検討・実施状況について

補助事業終了後の継続を見据え、財政措置も含む、独自の取組・方策等が検討・実施されているか。

※自主財源による URA 配置数の割合（自主財源 URA/配置総数）等も考慮

【応募時】

【平成 28 年度までの実績／進捗状況／変更点等】

7. 「審査及びフォローアップ結果コメント」への対応について

【コメント】 ※審査結果コメント（「研究力強化実現構想」に対するコメント、今後の研究力強化への取組に当たり、配慮いただきたい点）の内容を転記	【対応】
「研究力強化実現構想」に対するコメント  事業の実施に当たり、配慮いただきたい点	「研究力強化実現構想」に対するコメント  事業の実施に当たり、配慮いただきたい点
平成27年度フォローアップ結果、全体を通じた所見  期待する点	平成27年度フォローアップ結果、全体を通じた所見  期待する点

8. 特記事項（任意・自由記述）について

※1～7以外に各機関の現況、理念に基づく特徴を活かした取組等について、特記すべき事項があれば記入してください。



(機関名 : )

参考資料1 「補助事業費による人件費の主な使途 (平成28年度)」

※可能な限り1枚に収めてください。

経費区分	内訳 ※主な職務について記入してください	補助金額 (百万円)
例) 常勤人件費	・ シニア URA (〇〇業務担当) 1名 ・ URA (〇〇業務担当) 3名 ・ 特任教授 (〇〇、△△業務担当) 2名	〇〇百万円 〇〇百万円 (〇〇百万円×3) 〇〇百万円 (〇〇百万円×2)
非常勤人件費	・ 客員教授 (海外招へい、〇〇担当) 2名 ・ 技術支援員 (■ ■機器整備担当) 1名	〇〇百万円 (〇〇百万円×2) 〇〇百万円
合 計		



## 研究大学強化促進事業中間評価 進捗状況評価報告書(様式2別紙)

### 2. 「研究力強化の方針」の進捗状況について

#### ◆基本情報(教員数)

		【採択時】平成24年5月1日現在		【中間評価時】平成29年5月1日現在		【採択時】平成24年5月1日現在		【中間評価時】平成29年5月1日現在	
		本務者		本務者		兼務者		兼務者	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
教員数				( )				( )	
	うち女性教員数			( )				( )	
	うち若手教員数(※)			( )				( )	
	うち外国人教員数			( )				( )	

※平成24年4月1日現在、平成29年4月1日現在で39歳以下の教員

※学校基本調査と同じ整理で回答してください

※中間評価時の人数について、括弧内に対採択時の増減数を記載してください。(例: ▲30人 等)

#### ◆基本情報(学生数)

		【採択時】平成24年5月1日現在		【中間評価時】平成29年5月1日現在		【採択時】平成24年5月1日現在		【中間評価時】平成29年5月1日現在	
		大学		大学		大学院		大学院	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
学生数				( )				( )	
	うち留学生数			( )				( )	

※中間評価時の人数について、括弧内に対採択時の増減数を記載してください。(例: ▲30人 等)

※学校基本調査と同じ整理で回答してください

#### 4. 「研究力強化の方針に基づき取り組む事業《Aメニュー》」の進捗状況について

##### ◆URA配置計画人数・実績

年度	種別	研究大学強化促進費	URA事業(※)	自主財源	合計	達成率	備考
H25 (計画数)	シニアURA				0		
	URA						
H25 (実績数)	シニアURA				0		
	URA						
H26 (計画数)	シニアURA				0		
	URA						
H26 (実績数)	シニアURA				0		
	URA						
H27 (計画数)	シニアURA				0		
	URA						
H27 (実績数)	シニアURA				0		
	URA						
H28 (計画数)	シニアURA				0		
	URA						
H28 (実績数)	シニアURA				0		
	URA						
H29 (計画数)	シニアURA				0		
	URA						
H29 (実績数)	シニアURA				0		
	URA						

上段:URA配置計画数

下段:URA配置実績数

## 5. 「研究力強化の方針に基づき取り組む事業《Bメニュー》」の進捗状況について

### ◆ 科学技術システム改革関連事業との関係

補助事業名	実施の有無	事業開始年度	事業終了年度	備考
テニュアトラック普及・定着事業				
旧「若手研究者の自立的研究環境整備促進」				
ポストドクター・キャリア開発事業				
旧「イノベーション創出若手研究人材養成」				
旧「ポストドクター・インターンシップ推進事業」				
女性研究者研究活動支援事業				
旧「女性研究者支援モデル育成」				
女性研究者養成システム改革加速事業				
実践型研究リーダー養成事業				

※上表に事業名が記載されている科学技術システム改革関連事業以外にも、関係する他の補助事業がある場合は、以下の表に補助事業名を記載し、○印を付け、事業開始年度・終了年度を記載してください。(特にない場合は、表を削除してください。)

補助事業名	実施の有無	事業開始年度	事業終了年度	備考